

企業誘致の促進を

**質問** 全国ほとんどの自治体で企業誘致を行っており、企業の進出が自治体の活性化・経済的効果につながる。雇用の場が少なく、やむなく町外に就労の場を求め町を離れる若者も少なくない。ぜひ企業誘致の重要性や波及効果を認識して本腰で取り組んでいただきたい。町として、どのような政策で誘致を進めるのか。

**町長** 企業誘致を積極的に進めたいと考えており、新年度より次の二点をもって企業誘致に取り組んでまいりたい。第一点目は、企業誘致に関わる様々な業務を総務課に集約し企業誘致推進プロジェクトチームを設置、業務集約化と組織化により機動性と実効性を持たせた推進体制を確立する。第二点目、進出企業に対しての優遇措置や支援方策などの誘致条件の整備である。道内の企業立地は限られた地域に立地されており、企業誘致は難しい課題であるが、本町の雇用確保と地域経済発展のため積極的にこの課題に取り組んでまいりたい。



△工業団地



山田 秀明 議員

町立吉野・大和診療所の  
今後は

**質問** 野田良氏は、町内唯一の診療所医師として午前中は吉野診療所、午後は大和診療所と移動時間も問わず地域のため、また学校医としても長年にわたり貢献されてきましたが、高齢のこともあり21年の小学校統合を機に、現役を引退したい意向を持っていると聞きました。町として診療所に対しては今後どのような対応を考えているのか。

**町長** 両診療所の近年の来院者数は人口減少に伴い、年々減少しているのが現状であり、それに少子高齢化時代を迎え、この状況下における診療所運営の厳しさが増幅され

ている実情にある。今、病院・診療所等において医師不足が深刻化し、地域における診療体制の維持も極めて困難な状況にあるが、地域医療の確保のため、医療機関、関係機関に対し協力要請してまいりたいと考えている。



まちづくり基本条例について

**質問** 町政執行方針の中に、まちづくり基本条例を町民の手で作る上げ、「新十津川ならではの協働の仕組みを構築する」とありますが、町民とどのようにかわり内容を詰め

ていくのか、草案のようなものがあるのか、又いつ頃までの作成を考えているのか。

**町長** 私は昨年から本町のまちづくりを進めるに当たって、町民の皆さんとの協働を基本としたまちづくりを目指しているとしてまいりました。お互いの権利と義務をしっかりと認識しながら、その役割を担っていくことが大切だと思っております。条例は、町民の皆さんのまちづくりに懸ける熱い思いを「文章」という形でまとめることである。「地域のことは自分たちで考え行動する」住民自治の理念に基づき条例を作り上げるといふ共通認識を持っていただき、その課程で何度も話し合い、成案にするべく議論を重ねることこそ意義があると思っておりますので、ワークショップ形式で白紙の状態から積み上げていっていただきたいと考えています。従いまして、素案は考えていません。成案については、できれば「年度内」と考えているが、21年度以降にずれ込んでしまっても構わないと考えております。